

さわやかな挨拶

「挨拶を交わす」ことは人として基本的なことです。朝、生徒玄関に立っていると遅刻ギリギリで駆け込む生徒がいます。そのときに「おはようございます。すみません。」と言われると何かほっとします。逆に「おはようございます」も言わずに悠々と歩いているのを見ると不安を抱いてしまいます。

廊下を歩いているときに、後ろから「おはようございます」と言われることがあります。それも少し離れたところから目もあつていないのに。朝から爽やかな気持ちになります。

ごく自然に挨拶ができる人は、それだけで尊敬に値します。「人として」大切なことは日常生活の行動の中にあふれているものです。

親展「御中」速達「書留」

共通テストをはじめ、多くの学校の出願が始まりました。高校時代、大学の出願書類を完成させ、さあ出願！というときに、父親に言われたことを思い出します。「その書類は大事なものだから『書

留』で出さないとダメだ。」と。『書留』？初めて耳にする言葉に私は戸惑いました。『書留』？さらに父親は、「急ぐなら『速達』な」と。郵便局と言えはお遣いで年賀状を出しに行ったことしかなく、何のことやらでんでわからずに、父親から細かく説明を受けたものです。

人間は経験や体験から多くのことを学びます。郵便物の出し方にしても、誰かに任せていたのでは学びは生じません。何事も経験です！

勝負の秋！ 十月は模試、模試、模試

【10月の模試】

- 5 (土) 進研K模試 済み
- 6 (日) 進研K模試 済み
- 12 (土) 全統共テ模試 (会場：弘前大学)
- 13 (日) 全統共テ模試 (会場：弘前大学)
- 18 (金) 全統K模試
- 19 (土) 全統K模試
- 26 (土) 難関大模試 ※希望者のみ
- 27 (日) 難関大模試 ※希望者のみ

夏から言い続けてきましたが、勝負の秋(十月)がやってきました。机に向かうみなさんの表情に

も「受験生としての自覚」が芽生え始めたようです。さあ、この秋は精一杯の努力を重ね、本番を迎えましょう！

小論文「あるある」

大学入試小論文・課題文型で多いのが「筆者の意見を踏まえ、あなたの考えを○○字以内でまとめなさい」という出題です。課題文を理解し、その上で自分の考えを論理的にまとめるというもの。課題文型では本文の読解が優先されます。読解できなければ自分の意見をまとめることができないため、受験生は読解に全力を注ぎます。この作業が「現代文」読解の大切な作業につながります。小論文の添削を始めた生徒が「先生、評論や小説の得点が上がってきました！」とうれしそうに話すことがあります。これが「小論文あるある」です。いかに読解が大切か！



「道」は困難な方がよい。なぜなら困難な方が「努力」を重ねるから。努力は必ず報われるわけではない。でも「努力」は重ねた方がいい。なぜなら努力した方が達成感を得られるから。厳しい大学受験を突破するためには「勉強」あるのみ！